



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年7月31日

上場会社名 大研医器株式会社

上場取引所 東

コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 満

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 玉牧 健二

TEL 06-6231-9917

四半期報告書提出予定日 平成29年8月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,085	2.7	417	5.2	418	5.0	236	19.8
29年3月期第1四半期	2,031	3.4	397	3.0	398	4.8	294	1.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.88	7.87
29年3月期第1四半期	9.83	9.82

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,950	6,976	63.7
29年3月期	11,007	7,279	66.1

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 6,971百万円 29年3月期 7,274百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		18.00	25.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		9.00		12.00	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,250	1.7	710	16.8	710	16.9	420	33.0	14.00
通期	8,600	2.4	1,550	9.4	1,550	9.6	1,030	17.3	34.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	31,840,000 株	29年3月期	31,840,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,849,257 株	29年3月期	1,849,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	29,990,743 株	29年3月期1Q	29,990,743 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
3. 補足情報 .....	6
生産、受注及び販売の状況 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和等を背景に、企業収益や雇用・所得環境に持ち直しの兆しが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては、景気は緩やかに回復しているものの、米国の経済政策、英国のEU離脱問題、北朝鮮の地政学的リスクの高まり等により、経済不安は解消されず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、病院内感染や医療事故防止対策の推進により、国内外において医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

さらに、医療機器産業はわが国の経済成長の一端を担うことを期待されており、日本医療研究開発機構の設立、革新的な医療機器開発支援及び医工連携をはじめとした医療機器開発支援ネットワークの構築など、近年、官民を挙げて業界発展のためのサポート体制が整備・強化されてきております。

しかしながら、規制緩和による国内外の新規、既存メーカーとの競争激化や製品の品質、有効性及び安全性の確保等に要するコストも増加しており、依然業界を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

#### ① 売上高

売上高は、2,085百万円（前年同期比2.7%増）となりました。これは主として、主力の吸引器関連において、病棟用のキューインポットが好調に推移したこと等によるものです。

#### ② 営業利益

営業利益は、417百万円（前年同期比5.2%増）となりました。これは主として、研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上の拡大により売上総利益が増加したこと等によるものです。

#### ③ 経常利益

経常利益は、418百万円（前年同期比5.0%増）となりました。これは主として、営業利益が増加したこと等によるものです。

#### ④ 四半期純利益

四半期純利益は、236百万円（前年同期比19.8%減）となりました。これは主として、経常利益が増加したものの、50周年記念行事費用が特別に発生したこと等によるものです。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### ① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて77百万円減少し、6,212百万円となりました。これは主として、製品が82百万円が増加したものの、現金及び預金が75百万円、受取手形及び売掛金が53百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて20百万円増加し、4,737百万円となりました。これは主として、有形固定資産が17百万円増加したこと等によるものです。

#### ② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて306百万円増加し、3,509百万円となりました。これは主として、未払金（流動負債「その他」）が550百万円減少したものの、短期借入金が300百万円、支払手形及び買掛金が102百万円、設備関係支払手形が463百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて60百万円減少し、465百万円となりました。これは主として、長期借入金59百万円減少したこと等によるものです。

#### ③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて303百万円減少し、6,976百万円となりました。これは主として、四半期純利益を236百万円計上したものの、利益剰余金が剰余金の配当により539百万円減少したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は堅調に推移しておりますが、第2四半期以降、新工場の稼働を控えていること等により、現時点では、平成29年3月期決算短信（平成29年5月15日公表）に記載いたしました業績予想と変更はございません。

今後の業績動向により、変更が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,319,545	2,243,791
受取手形及び売掛金	2,725,996	2,672,622
製品	674,924	757,401
仕掛品	46,185	52,835
原材料	266,240	279,147
繰延税金資産	135,011	135,011
その他	122,276	71,927
貸倒引当金	△91	△91
流動資産合計	6,290,088	6,212,645
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	718,411	712,450
土地	1,703,670	1,703,670
建設仮勘定	1,866,226	1,901,625
その他(純額)	217,578	205,430
有形固定資産合計	4,505,887	4,523,177
無形固定資産	61,805	57,031
投資その他の資産		
投資有価証券	7,576	7,945
繰延税金資産	30,037	29,916
その他	143,913	151,183
貸倒引当金	△31,748	△31,500
投資その他の資産合計	149,778	157,545
固定資産合計	4,717,472	4,737,754
資産合計	11,007,560	10,950,399

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	852,918	955,401
設備関係支払手形	25,415	489,301
短期借入金	450,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	439,952	439,952
未払法人税等	201,971	107,392
未払費用	394,251	442,747
賞与引当金	—	11,539
その他	837,980	312,709
流動負債合計	3,202,489	3,509,044
固定負債		
長期借入金	500,140	440,152
その他	25,386	24,849
固定負債合計	525,526	465,001
負債合計	3,728,016	3,974,045
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	505,204	505,204
利益剰余金	6,781,789	6,478,350
自己株式	△510,004	△510,004
株主資本合計	7,272,864	6,969,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,520	1,769
評価・換算差額等合計	1,520	1,769
新株予約権	5,160	5,160
純資産合計	7,279,544	6,976,353
負債純資産合計	11,007,560	10,950,399

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,031,221	2,085,368
売上原価	970,022	983,163
売上総利益	1,061,199	1,102,205
販売費及び一般管理費	663,925	684,390
営業利益	397,274	417,814
営業外収益		
受取利息	35	32
受取配当金	104	112
未払配当金除斥益	749	544
受取補償金	287	21
貸倒引当金戻入額	650	—
その他	405	372
営業外収益合計	2,232	1,084
営業外費用		
支払利息	1,127	819
その他	89	0
営業外費用合計	1,217	819
経常利益	398,289	418,080
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	1,650	—
特別利益合計	1,650	—
特別損失		
固定資産除却損	212	330
50周年記念行事費用	—	85,145
特別損失合計	212	85,475
税引前四半期純利益	399,726	332,604
法人税等	104,799	96,210
四半期純利益	294,927	236,394

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の製品群別に記載しております。

## ① 生産実績

製品群	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	630,399	+1.7
注入器関連	336,668	+13.1
電動ポンプ関連	13,880	+4.7
手洗い設備関連	51,798	△38.5
その他	53,664	+13.5
合計	1,086,412	+2.3

- (注) 1 金額は製造原価によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③ 販売実績

製品群	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	1,344,343	+6.6
注入器関連	522,412	△0.5
電動ポンプ関連	27,978	+11.9
手洗い設備関連	131,337	△20.9
その他	59,296	+8.5
合計	2,085,368	+2.7

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。